

今年度もいよいよ後半です。運動会、文化祭といった大きな行事を終えて、10月は学級が大きく成長していくチャンスです。また、過ごしやすい気候となり、腰を据えて学級づくりに向き合える時期でもあります。改めて、学級の児童生徒の理解に努めるとともに、年度当初に思い描いた「目指す学級の姿」と現在の姿を比べながら、後半の学級づくりへの見通しをもちたいものです。



<小学校>

「聴き合う」学級合唱にしませんか

ただ、ひたすらに、歌う…そのような学級合唱の時間になっていませんか？そのようなときは観点に沿って音楽を聴き合えるようにしてみましょう。

観点(例)

教師の発問(例)

聴き合う

音や音の重なり

隣の人と同じ音で歌うことに気を付けて歌えたかな？

歌詞が伝えたいこと

歌詞から伝わる情景や気持ちは表れていたかな？

友の言葉

〇〇さんの意見を大事にしてもう一度歌ってみようか。

♪ 子どもの言葉を引き出しましょう

「聴く」ことは音楽活動の大切な要素の一つです。歌いながら聴き取れたことや感じ取れたこと、アドバイスなどを、言葉にして伝え合う時間を位置付けてみましょう。



「よく見てねと言われても…」
～形の特徴をつかむことが難しい～

Aさんは絵を描く時間になると、なかなか始めようとしません。

どこを見て描けばよいか分からなかったり、対象の向きや位置を捉えることが難しかったりする子どもに、「よく見てね」と声がけするのですが、その子はどうしてもよいか分からないようです。

【支援の例】

- ・「葉っぱの縁、ノコギリみたいにギザギザしてるね」等、対象物を指さしながら、形の把握をしやすく、イメージしやすい具体的な言葉で伝えましょう。
- ・同じ構図で撮影した画像に印を付ける等、見てほしいポイントを図示しましょう。



具体的な声がけや視覚的な支援で、安心して活動に取り組めます。

<中学校>

生活記録のコメントは心を込めて

生活記録は、生徒のことを理解したり、生徒と心を通わせたりする上で大切なものです。返事のコメントには、十分な配慮と工夫をしたいと思います。

①その子を認めるように

「〇〇だったんだね」のように、まずは生活記録に書いてあることを受け止め、その後に担任の思いを伝えましょう。

②字面だけを追わない

悩みを抱えている生徒には、言葉の背後にあるものまで考えてコメントを書きましょう。また、場合によっては他の職員に相談をしましょう。

③「自分が親だったら」の感覚で

コメントを書かれた生徒の親の気持ちになって書くことも大切です。



④返事を書く時間がないときは…

押印やサインだけでなく下線を入れ、「先生が読んでくれた」ことを生徒に伝えるようにしたいものです。

班内の一人一係で生活向上を

班の中に一人一役の係活動を取り入れませんか。自己有用感や班への所属感の高まり、生活の向上が期待できます。



<係活動の例>

- | | |
|-----|----------------------------------|
| 班 長 | ・班会議の司会進行
・集会などでの整列の呼びかけ |
| 学習係 | ・ドリルや読書読書の呼びかけ
・授業開始前の着席の呼びかけ |
| 給食係 | ・給食の配膳分担の確認
・給食後の教室環境整備 |
| 清掃係 | ・分担と手順の確認と呼びかけ
・清掃反省会の司会進行 |
| 連絡係 | ・欠席者への連絡票づくり
・記入箇所の分担と記入の依頼 |

午後の学活に班会議を取り入れ、各係が班の取組のよさや課題を発表したり、翌日の目標を立てたりすることで、さらなる生活向上につなげます。

また、週末に各班の係生徒による係会を行うことで、互いの班の取組で学び合うことが期待できます。